

改訂

日本工業大学
高度金型人材育成講座

高度金型設計のための
金型スクール U1.U2

2019 年度開講案内

■金型入門・基礎ユニット(U1)
7月1日(月)～7月13日(土)

■金型実践ユニット(U2)
プレス金型(U2Y)
10月21日(月)～11月2日(土)

プラスチック金型(U2X)
11月4日(月)～11月16日(土)

金型スクールの開講にあたって

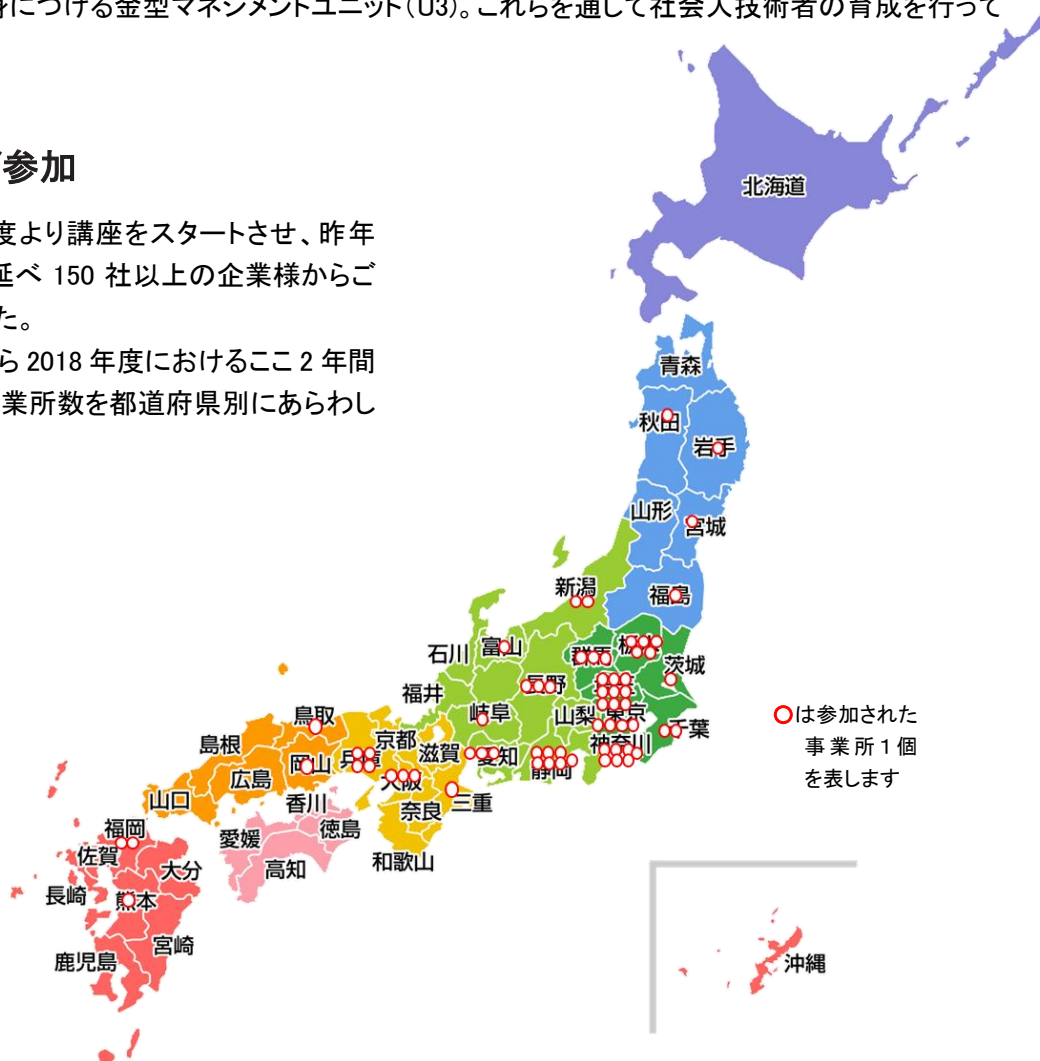
日本工業大学では、2008～2010年度の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受けて、高度金型人材育成を目的とした教育カリキュラムの開発を進めてまいりました。

この成果を活用して、本学では、2011(H23)年度より本学に金型教育事業部を設立し3つの教育ユニットを開講いたしました。高度金型技術者へと成長できる金型に関する基盤的～実践的技術力を身につける金型基礎ユニット(U1)及び金型実践ユニット(U2)、高度金型を手掛けるための人・組織・金・技術等のマネジメント力を身につける金型マネジメントユニット(U3)。これらを通して社会人技術者の育成を行っております。

全国からのご参加

当校は2011年度より講座をスタートさせ、昨年2018年度までに延べ150社以上の企業様からご参加いただきました。

右図は2017年から2018年度におけるここ2年間にご参加された事業所数を都道府県別にあらわしたものです。



様々な動機

- ・新入社員に対する金型設計の基礎習得や土台づくりのための研修の場として活用している
- ・生産から設計など社内人材のスムーズな活用を可能としたい
- ・自社で教育体系を作りたいが広がりを持って整理されたカリキュラムや教材がない
- ・やり方は教わるが、その背景にある理論をちゃんと学びたい
- ・自社技術に偏りがあり関連する他の技術知識やノウハウ不足により顧客開拓ができない
- ・会社で自社に特化した技術以外に汎用的な理論や知識を学びたい
- ・ベテラン社員と若手社員のコミュニケーションギャップがあり技術継承が進まない
- ・指導社員が独学で学んだ知識しかないため金型についてのイロハを身につけたい
- ・外注する金型の試作品の不具合を無くすために、内容を十分伝える事ができるよう成形現場に金型設計の知識を習得させたい

金型スクールの意義・効果

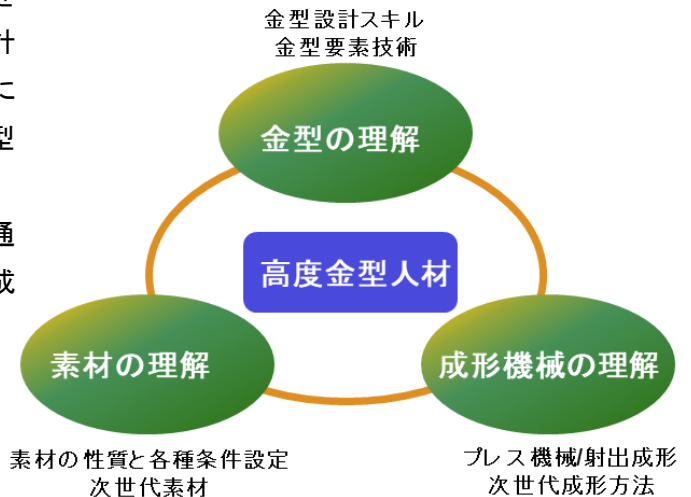
- 金型設計者育成のための安定かつ継続性のある教育サービスを提供します
- 実践性を前提に幅広い領域の知識や技術を体系的に教え、これからの中核的人材を育成します
- 人材や組織の能力を高め、活性化させるとともに、課題解決力や提案力等を高めます
- 組織の円滑な世代交代や人材の流動化への対応強化、技術継承に貢献します

教育の狙い

●当校では設計者育成のために U1、U2 コースを設定しています。両コース共に「何のための設計か(視点)」「どうしてそうなるのか(理論)」「何について知るべきか(知識)」の3つの観点から金型設計を学びます。

体系的な知識習得および具体的な演習作業を通して、設計力を実感として得られるような講座構成としています。

●基礎力の獲得を重視するとともに、経験や勤に頼りがちな作業において、その理論や数式、関連するデータ等により理解を深めて変化に対応できる応用力、解決力のある人材を育成します。



“何のための設計か” “どうしてそうなるのか” “何について知るべきなのか”の観点から金型設計についてのさまざまな知識、情報を体系的にかつ具体的な演習作業等を通じて学びます。製図だけでなく、素材や機械の理解まで、金型設計に必要な要素技術をトータルで指導します

講座の主な特徴

●双方向カリキュラム

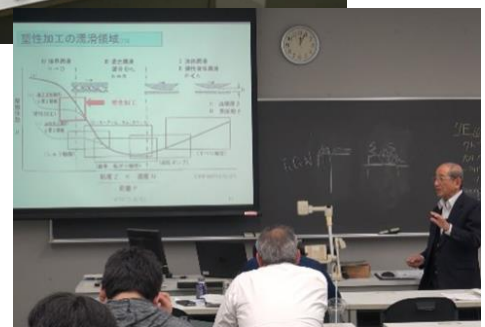
各講座では豊富に演習や討議、発表の時間を取り入れています。これにより一方通行の授業にならず、常に興味を持って講義を受けられるよう工夫しています。

●短期集中

2週間(12日間)合計90時間をかけ、短期集中型で技術者としての考え方や知識を幅広く学び取ってもらいます。

●経験と知識豊富な講師陣

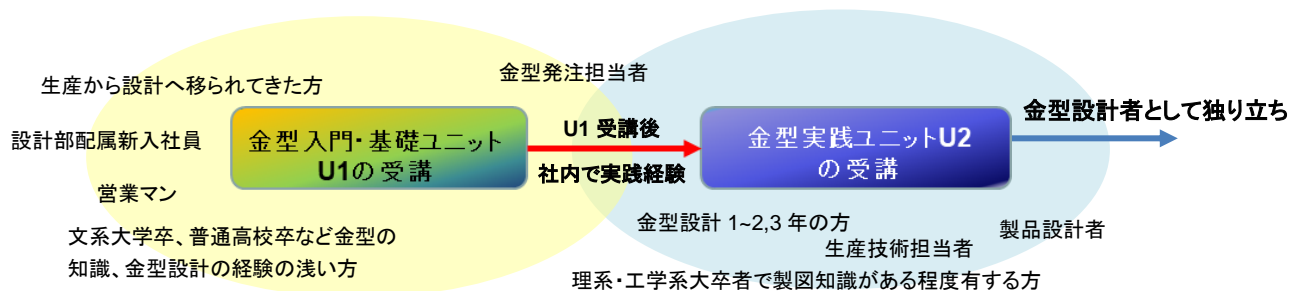
大手製造企業の金型、成形などの生産技術者のOB、得意分野を持った技術コンサルタント(技術士)が、自らの豊富な経験と知識を持って徹底指導いたします。



2019 年度開講日程と講座の対象者

日程	コース	対象
7月1日(月) ～7月13日(土)	U1 金型入門・基礎ユニット ※最初の1週間はプレス、プラスチック金型に関らず共通に受講し、後半1週間はプレス金型製図、プラスチック金型設計コースに分かれます(選択受講)。	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員 ・生産から設計など配置転換で金型設計に初めて携われる方 ・文系大学卒、普通高校卒など金型の知識、金型設計の経験の浅い方 ・金型関連業界の営業担当者
10月21日(月) ～11月2日(土)	U2Y 金型実践ユニットプレス 金型コース	<ul style="list-style-type: none"> ・当校U1コース修了者 ・理系・工学系大卒者で製図知識をある程度有する方 ・最低限の金型の知識および製図の知識・経験等金型設計の基礎的スキルを有する方
11月4日(月) ～11月16日(土)	U2X 金型実践ユニットプラスチック 金型コース	

講座参加のイメージ



担当講師陣(2018 年度 12 月現在・順不同)

- ・横田悦二郎(担当 U1): 日本工業大学技術経営研究科 客員教授 日本金型工業会学術顧問
- ・足立達也(担当 U2Y): 達エンジニアリング有限会社(技術士 元金型企業の社長。生産技術者)
- ・伊藤英樹(担当 U1,U2X): 伊藤英樹技術士事務所(技術士)
- ・小泉英二(担当 U1): 元大手企業の生産技術者
- ・鈴木勲 (担当 U1,U2Y): 元大手企業の生産技術者(ものづくりマイスター)
- ・中島次登(担当 U1): 元中央労働災害防止協会(労働安全コンサルタント・機械)
- ・福島有一(担当 U1,U2X): クレスト株式会社(福島技術士事務所・技術士)
- ・本間精一(担当 U2X): 本間技術士事務所(技術士)
- ・村上智広(担当 U2Y): 職業能力開発総合大学校 教授(博士(工学))
- ・村中昌幸(担当 U1,U2X): 村中技術士事務所(技術士)
- ・千村正(担当 U 2Y): 元製造企業の社長、生産技術者
- ・小野保夫(担当 U 2Y): 元大手企業の生産技術者
- ・藤井敏秀(担当 U 2Y): 元大手企業の生産技術者

入門・基礎ユニット U1 7月1日(月)～7月13日(土)

金型設計者として必要な基礎知識やスキルの習得を目指します。具体的には、金型業界とその技術特性にはじまり、製造に関連した安全やものづくりの基本作業である仕上げ加工の基礎、金型による抜きや成形の方法等について座学と演習によって学習し、最終的に金型設計に必要な製図・設計技術の基礎を習得していただきます。

金型入門ユニット(U1-XY プラスチック・プレス共通)				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・金型ビジネスと金型技術の入門	“金型とは何”と言った基本的な事項から金型産業と製造業の係りなどを踏まえ、日本の金型産業の特長などを学ぶ。	1.金型とは 2.金型産業と製造業 3.日本の金型産業の特長 4.グローバル化における日本の金型産業	7/1～7/2 10コマ	横田
・金型の安全性と環境	金型設計、製作やプレス加工などの成形工程を前提にした安全性と環境対応について学ぶ。	1.職場の安全と環境 2.リスクアセスメント 3.プレス機械と安全	7/3 5コマ	中島
・金型仕上げ演習	金型仕上げ加工の基本を座学と演習で学び仕上げ作業の基本を知る。やすりかけ、けがき、穴あけ、金型部品、製品、演習品の計測など。	1.金型仕上げ加工の内容 2.やすりかけ演習 3.けがき演習 4.穴あけ演習 5.仕上げ用測定機器による演習	7/4～7/6 15コマ	小泉 鈴木

金型基礎ユニット プラスチック金型コース(U1X)				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プラスチック成形金型設計基礎	金型設計に必要なプラスチック材料、金型、金型材料・熱処理、成形機械、成形加工および機械製図の基礎を学ぶ。	1.プラスチック諸成形法 2.プラスチック材料 3.プラスチック成形金型 4.プラスチック射出成形加工 5.金型に留意した成形品設計	7/8 5コマ	伊藤
		機械製図基礎(JIS製図規定、寸法公差とはめあい、金型図面の見方)	7/9 5コマ	
		プラスチック成形金型材料と成形機械	7/10 5コマ	村中
・プラスチック成形金型設計演習	金型製図の基本から設計までを、実際に製図を行い習得する。受講生の経験などに応じてグループ編成。	1.図面の見方 2.機械製図の基礎 3.製品図の見方 4.生産における制約条件の検討 5.生産設計/構想設計/構造設計/部品設計 6.まとめ・発表・講評	7/11～ 7/13 15コマ	福島

金型基礎ユニット プレス金型コース(U1Y)				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プレス金型用製図基礎の習得と組立図、部品図演習	各種の金型を使った部品製作やプレス金型の特長を理解し、プレス金型を設計製作するための金型図面にこれらの知識を応用する。初めてプレス金型製図を学ぶ人たちに、JIS 機械製図の”読む・描く・表現する”の理解度を深め、プレス金型製図へ融合させ、基本的なプレス金型組立図、部品図を描画し、金型製図の基本スキルを学び習得する。	1.金型の基礎 2.プレス加工の基礎 3.プレス加工用被加工材 4.プレス金型の基礎 ・プレス金型の特長 ・プレス金型の種類 ・プレス金型の構成 ・プレス金型の構造	7/8～ 7/13 30コマ	鈴木 小野
		1.プレス金型製図の概要 2.プレス金型製図の基礎 3.JIS機械製図の基礎 4.金型組立図製図演習 5.金型組立図から部品図への展開演習 6.金型組立図作品発表・講評		

9:20～18:10(90分×5コマ)

コース受講料 19.8万円

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:20～10:50	11:00～12:30	13:20～14:50	15:00～16:30	16:40～18:10

※最初の1週間はプラスチック、プレス金型に関らず共通に受講し、後半1週間は各コースに分かれます。

金型仕上げ演習は最大受入れ定員が18名です。本講座のみ宮代キャンパスで行われます。

注:募集締め切り日:2019年5月31日(金) 定員20名程度

各ユニットにおける受講生が開講最低定員(5名)未満の場合は開講を中止することもあります。

実践ユニットプレス金型コース U2Y 10月21日(月)～11月2日(土)

・金型設計に必要な視点やプロセス、あるいは知識を体系的、かつ具体的な演習作業等を通じて学び、プレス金型設計者の早期育成を目的にします。
 ・真の金型設計技術者を目指して、プレス金型設計のための理論や数式、関連するデータ等を学び基礎力があり変化に対応できる応用力を養成します。

金型実践ユニット				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プレス加工の基礎	プレス加工・型技術の基礎となる材料力学、塑性変形、金属材料特性、抜き、曲げ、絞りの各加工機構、加工特性を学ぶとともに、各種プレス加工とその金型について知見を深める。	1. 塑性加工と金型の係り 2. 材料力学入門 3. 塑性変形と金属材料特性 4. 抜き加工の基礎 5. 曲げ加工の基礎 6. 絞り加工の基礎 7. 各種プレス加工と金型	10/21～ 10/22 午前 7コマ	足立 藤井
・金型の磨耗、破損解析	型の破損、摩耗現象の基礎を学ぶとともに、実際に破損した型部品事例の観察をもとに、実際に即した解析技術を習得することで、高強度材料や加工複合化にも対応する型設計力、事故対応力のレベルアップを目指す。	1. 最近のものづくりと型寿命 2. 摩耗現象と対策の基礎 3. 破損現象と破面観察の基礎 4. 破損型部品の事例研究 5. 型設計・製作と破損・摩耗対策	10/22 午後 ～10/23 14:50 6コマ	足立
・金型の要素技術	金型材料、加工、組立、品質検査、熱処理、汎用・車用プレス材料等のプレス金型全般に関する要素技術を学び、プレス金型設計のための基礎技術を取得する。	1. プレス金型材料 2. 金型部品の熱処理 3. 熱処理工場見学 4. 金型部品への表面処理 5. 汎用および自動車用プレス材料	10/23 15:00～ 10/25 午前 9コマ	鈴木 千村
・プレス部品の生産設計	金型設計のための製品図の読み方とデザインレビュー、製品図の生産設計の方法およびプレス部品への熱処理、表面処理、塗装、カシメ、溶接などの後工程の概要を学ぶ。	1. 生産設計・生産技術の考え方 2. 製品図の見方 3. 製品図のデザインレビュー 4. プレス部品の後工程	10/25 午後 3コマ	鈴木
・プレス機械と周辺装置	プレス機械の構造と加工精度の関係について測定データに基づきわかりやすく解説し、機械各部の見方を学ぶ。さらに、プレス機械の3能力とプレス加工との関係、金型とプレス機、周辺装置との関係を学ぶ。	1. プレス機械の構造特性 2. プレス機械とプレス加工 3. 自動化システムと周辺装置 4. 最新のプレス機械の紹介 5. プレス機仕様と金型設計の関係	10/26 5コマ	村上
・プレス金型 設計・製図 演習	プレス金型設計の基本、抜き、曲げ、絞り型の概要を学び、データを基にしたそれぞれの金型設計を行い、構造の概要と設計技術習得を演習を通じて取得する。	1. プレス金型設計の基礎 2. プレス金型の基本 3型の設計・製図 ・抜き金型設計の設計・製図 ・曲げ金型設計の設計・製図 ・絞り金型設計の設計・製図	10/28～ 10/29 10コマ	鈴木 小野
	講座で学んだ要素技術、設計基礎知識等を基に生産設計、金型構想設計、金型構造設計などの演習を行う。 受講生持参の課題や製品事例より、経験に応じた各自のテーマを講師の綿密なOJTを基にプレス金型設計・製図を行い、設計・製図、加工内容の検討討議を実施し最適設計への基礎を学ぶ。	1. 製品図の設計検討 2. 金型設計仕様書 3. 生産設計の検討 (形状、寸法公差、加工限界、工程数) 4. 生産設計成果の討議 5. 金型構想設計 6. 金型構造設計 7. 金型部品設計(加工性、精度、経済性、納期) 8. 金型構造設計討議(設計評価) 9. 設計・製図作品発表・講評	10/30～ 11/2 20コマ	鈴木 小野

9:20～18:10 (毎日 90分×5コマ)

コース受講料 19.8万円

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:20～10:50	11:00～12:30	13:20～14:50	15:00～16:30	16:40～18:10

注:募集締め切り日:2019年9月20日(金) 定員 20名程度

金型の磨耗、破損解析のみ受入れ定員が16名です。

各ユニットにおける受講生が開講最低定員(5名)未満の場合は開講を中止することもあります。

実践ユニットプラスチック金型コース U2X 11月4日(月)～11月16日(土)

・金型設計に必要な視点やプロセス、あるいは知識を体系的、かつ具体的な演習作業等を通じて学び、プラスチック金型設計者の早期育成を目的にします。
 ・真の金型設計技術者を目指して、プラスチック金型設計のための理論や数式、関連するデータ等を学び基礎力があり変化に対応できる応用力を養成します。

金型実践ユニット プラスチック金型コース (U2X)				
科目名	科目の目的	概要	日程	講師
・プラスチック成形加工の基礎	プラスチック成形に関わる3要素(材料、金型、成形機)の基礎および溶融樹脂の流れと金型の関係を学ぶ。	1.プラスチック成形法概論 2.射出成形の基本 3.材料の射出成形特性 4.射出成形工程と不良発生機構、対策 5.成形品設計の進め方	11/4～ 11/5 10コマ	本間
・プラスチック成形金型設計基礎	射出成形金型の機能と構造を理解し、金型初期検討、金型構想設計までの基礎を学ぶ。	1. プラスチック製品の設計から量産まで全工程概観 2. 射出成形金型の概要 (機能・構造、PL、勾配、収縮、成形不良) 3. 金型初期検討の基礎 (型締力、成形サイクル、金型強度) 4. 金型構想設計の基礎 (モールドベース、ランナー、ゲート、金型温調、突き出し、エアイベント、アンダーカット処理機構)	11/6～ 11/8 15コマ	伊藤
・プラスチック成形材料	金型設計に必要なプラスチック材料の諸特性を学ぶ。	1.特性(熱可塑、結晶・非晶、特性改質、PVT) 2.物性(物理、機械、熱、電気、化学、成形、物性表) 3.種類と用途(汎用、エンブラ、エラストマー、熱硬化) 4.プラスチック材料の選び方 5.製品への適用(失敗事例、成功事例)	11/9 5コマ	伊藤
・プラスチック金型材料と熱・表面処理	プラスチック成形金型材料と加工法、熱処理、表面処理を学ぶ。	1.プラスチック成形金型材料の要件 2.プラスチック金型用鋼の特性 3.プラスチック金型用非鉄金属材料 4.プラスチック金型加工技術 5.金型材料・部品の熱処理、表面処理 (熱処理工場見学を含む)	11/11 5コマ	村中
・プラスチック成形法と成形機械	熱可塑及び熱硬化プラスチックに適用される射出成形応用成形と射出成形以外の多くの成形法について成形の3要素(材料・成形機・金型)を学ぶ。	1.材料と成形加工の基礎 2.熱可塑性樹脂の成形と成形機械・金型 (射出成形の応用および射出成形以外の成形法) 3.熱硬化性樹脂の成形と成形機械・金型 (ウレタン注型実習を含む) 4.プラスチック成形機周辺機器	11/12 5コマ	村中
・プラスチック成形金型設計演習	製品図を基にして生産設計、金型構想設計、金型構造設計、金型部品設計の演習を行う。受講生は自分の設計した図面について、設計のコンセプト、金型構造、特徴、残された課題などについて発表を行う。	1.製品図の設計検討 2.金型設計仕様書 3.生産設計の検討 4.金型構想設計 5.金型構造設計 6.金型部品設計 7.主要金型部品加工の検討 8.まとめ(発表) 9.講評	11/13～ 11/16 20コマ	福島

9:20～18:10 (毎日 90分×5コマ)

コース受講料 19.8万円

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:20～10:50	11:00～12:30	13:20～14:50	15:00～16:30	16:40～18:10

注:募集締め切り日:2019年10月4日(金) 定員20名程度

各ユニットにおける受講生が開講最低定員(5名)未満の場合は開講を中止することもあります。

受講費用

ユニット名	総コマ数・単価	受講料	備考
金型入門・基礎ユニット (U1X・U1Y)	60コマ 1コマ3,300円	19.8万円	最初の1週間はプレス、プラスチック金型に関らず共通に受講し、後半1週間はプレス、プラスチック金型設計コースに分かれます。
金型実践ユニット (U2X・U2Y)	60コマ 1コマ3,300円	19.8万円	最初から、プレス、プラスチックそれぞれ60コマ(2週間)の講座です。

(消費税別途)

<科目単位の受講について>

科目単位での受講も可能です。ご希望の場合、受講される科目のコマ数の合計に上記の単価を掛け合わせた金額となります。巻末の申込書をご覧ください。

<一般社団法人日本金型工業会ご加盟の場合>

ご加盟の企業は受講料の10%の割引が適用されます。申込時にお伝え下さい。

<受講料のお支払い>

受講締切り日後、本学からご請求書を郵送いたしますので講座開始日までにお振込み下さい。

<直前のキャンセルについて>

開講1週間前からキャンセル料がかかります(事務手数料として受講料の1割)。

受講料の公的補助

厚生労働省による人材開発助成金の特定訓練コース等の利用が可能な場合があります。詳しくは同省のWebサイトをご覧ください。

厚生労働省ウェブサイト:

金型マネジメント基礎ユニット U3 4月～9月

・本ユニットは日本工業大学専門職大学院(MOT)と連携し、高度金型を手がけるための幹部候補社員が学ぶコースです。業務の延長では学びにくい人・組織・会計・経営戦略・生産管理等のマネジメントの実践的知識を学びます。
・本ユニットはMOTの「科目等履修制度」の仕組みを活用した事業です。受講後に専門職大学院の正規課程に入学が可能です。

金型マネジメントユニット(U3)	概要	コマ
中小企業技術経営基礎 (春学期)	技術を経営に活かすための、基本的な経営戦略手法の理解	15
人・組織のマネジメント基礎(リーダーシップと人事の仕組み) (春学期)	リーダーシップ・マネジメント・コンピテンシーと部下へのコーチング・業績評価等の理解	15
管理会計(※) (夏学期)	ビジネスリーダーが実践すべき基礎的な管理会計の概念、ならびに手法の獲得	15

・日程や受講料詳細については別途お問合せください。

・本ユニット(U3)については事前の申請書類の提出が必要です。修得単位は入学後の単位として認められます(別途入学試験があり)。詳しくはお申込みを頂いた際に担当者よりご説明いたします。

(※)夏学期の管理会計は、ある程度の簿記の知識がある事を前提にした科目です。簿記の知識がない方への入門科目としては、春学期の「会計学基礎」への振替えや、追加受講(有料)が可能です。詳しくはお問い合わせください。

修了認定証

全科目受講者には、日本工業大学より「修了証」、一般社団法人日本金型工業会より「修了認定証」が授与されます。

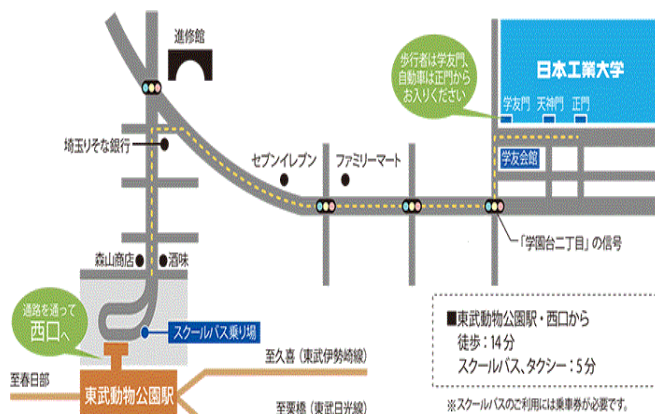
受講所在地

金型仕上げ演習を除く全ての科目



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5
日本工業大学 神田キャンパス

金型仕上げ演習



〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
日本工業大学 機械実工学教育センター

問合せ・申込み先

(公式窓口)

日本工業大学 生涯学習センター 金型教育係

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

(担当者直通:金型教育事業部 東京事務所 秋元)

Mail : info@nit-kanagata.com

TEL:090-1997-7001

FAX:03-3511-7594

金型スクールホームページ

<https://www.nit-kanagata.com>

お申込み

右頁の申込書をスキャナー等で読み取り info@nit-kanagata.com 宛にメールか、FAX(03-3511-7594) 送信いただきたく存じます。また当校ホームページからも申込書のダウンロードが可能です。
募集締め切りは各講座開始の 1 か月前です。

メモ

2019年度 日本工業大学 高度金型人材育成講座 申込書

以下の通り高度金型人材育成講座について申し込みします。

FAX送信先:03-3511-7594
電子メール:info@nit-kanagata.com

●金型入門ユニット(U1XY)プレス/プラスチック共通科目7/1(月)～7/13(土)開講 U1XY全科目受講 9.9万円(税別) 人

U1XYの特定科目のみをお申込みされる場合は以下に人数をご記入ください			
科目名	内容	コマ数	申込人数
金型ビジネスと金型技術の入門	金型業界のビジネス特性と金型技術の発展動向 (7/1～7/2)	10コマ(15時間)	① 人
金型の安全性と環境対応	金型製作、成形に関わる安全性と環境対応のためのあり方 (7/3)	5コマ(7.5時間)	② 人
金型仕上げ演習	金型仕上げに必要な、やすりかけ・けがき・穴あけ・測定等を実習 (7/4～7/6)	15コマ(22.5時間)	③ 人

●金型基礎ユニット 7/8(月)～7/13(土)開講 U1X全科目受講(プラスチック) 9.9万円(税別) 人
プラスチック金型・プレス金型のいずれかを選択して下さい U1Y全科目受講(プレス) 9.9万円(税別) 人

科目名	内容	コマ数	申込人数
金型基礎ユニット(U1X)プラスチックコース	金型の基礎と、金型特有の図面の読み方、描き方のイロハを学習 7/8～7/13 (プレス金型、プラスチック金型のいずれかを選択受講します)	30コマ(45時間)	
金型基礎ユニット(U1Y)プレスコース		30コマ(45時間)	

●金型実践ユニット プレス金型コース(U2Y) 10/21(月)～11/2(土)開講 U2Y全科目受講 19.8万円(税別) 人

U2Yの特定科目のみをお申込みされる場合は以下に人数をご記入ください			
科目名	内容	コマ数	申込人数
プレス加工の基礎	せん断、曲げ、絞りの塑性の加工・材料特性と力学基礎 (10/21～10/22午前)	7コマ(10.5時間)	① 人
金型の摩耗、破損解析	金型の摩耗、破損の基礎学習と事例研究により金型設計力、事故対応力を学習 (10/22午後～10/23午後)	6コマ(9時間)	② 人
金型の要素技術	金型材料、金型部品に関する要素技術、汎用・車用プレス材料に対する知識 (10/23午後～10/25午前)	9コマ(13.5時間)	③ 人
プレス部品の生産設計	金型設計のための製品図の読み方、プレス部品への熱・表面処理などの後工程技術 (10/25午後)	3コマ(4.5時間)	④ 人
プレス機械と周辺装置	成形方法に応じたプレス機械と合理的成形システム (10/26)	5コマ(7.5時間)	⑤ 人
プレス金型 設計・製図 演習	データベースを基とした金型設計技術 (10/28～10/29)	30コマ(45時間)	⑥ 人
	これまでの講座で取得した技術を活用した金型設計演習と発表 (10/30～11/2)		

●金型実践ユニット プラスチック金型コース(U2X) 11月/4(月)～11/16(土)開講 U2X全科目受講 19.8万円(税別) 人

U2Xの特定科目のみをお申込みされる場合は以下に人数をご記入ください			
科目名	内容	コマ数	申込人数
プラスチック成形加工の基礎	プラスチック成形に関わる3要素(材料、金型、成形機)や流体力学などの基礎 (11/4～11/5)	10コマ(15時間)	① 人
プラスチック成形金型設計基礎	射出成形金型の機能と構造の理解。金型初期検討～金型構想設計 (11/6～11/8)	15コマ(22.5時間)	② 人
プラスチック成形材料	金型設計に必要なプラスチック材料の諸特性 (11/9)	5コマ(7.5時間)	③ 人
プラスチック金型材料と熱・表面処理	プラスチック成形金型材料と加工法、熱処理、表面処理 (11/11)	5コマ(7.5時間)	④ 人
プラスチック成形法と成形機械	成形法(射出・非射出成形)への理解と成形の3要素(材料・成形機・金型)との関係 (11/12)	5コマ(7.5時間)	⑤ 人
プラスチック成形金型設計演習	製品図を基に生産設計、金型構想設計、金型構造設計、金型部品設計の演習 (11/13～11/16)	20コマ(30時間)	⑥ 人

御社名・連絡担当者名等をご記入ください

「ご担当者様名」は受講される生徒様のお名前ではなく、上長・総務ご担当者・社長様等お申込みの主体となる管理者をご記入ください↓

御社名		ご担当者様名 部署名	
		受講者様名	受講者が明確な場合はご記入ください
御社住所			
連絡先 TEL/FAX		連絡先 電子メール	
人材開発支援助成金の 利用予定はありますか?	あり ・ なし	割引適用:日本金 型工業会ご加盟 の有・無	あり ・ なし
通信欄			

本書面に受講ユニット等をご記入の上、03-3511-7594へFAX もしくはinfo@nit-kanagata.comへ送信して下さい。
本学よりの請求書は、お申し込み締め切り日(開講の1か月前)以降、御社へ郵送いたします。

<https://www.nit-kanagata.com>

(公式窓口)

日本工業大学 生涯学習センター 金型教育係
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

(担当者直通:金型教育事業部 東京事務所 秋元)

Mail : info@nit-kanagata.com

TEL:090-1997-7001

FAX:03-3511-7594